

第9回

文化庁 平成30年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業『実演芸術連携交流事業』」

実演芸術連携フォーラム

地域の人々との接点をつくりだすために、私たちは何ができるでしょうか

全国あらゆる人々へ芸術体験の機会を拡げること。

これは、劇場・音楽堂等や芸術団体、実演芸術に携わる方々の共通の大目的といえるでしょう。2012年に「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」が施行され、2013年以降、「実演芸術連携フォーラム（旧：全国劇場・音楽堂等連携フォーラム）」は、継続的に意見交換の場をもうけてきました。

第9回では、大目的の実現に向けた地域ごとの挑戦を事例に、議論を深めていきたいと思えます。

芸術団体、劇場・音楽堂等の文化施設、文化関連団体、自治体、さまざまな立場の実演芸術の担い手である皆様と一緒に考えます。

日程

2018年 **10月2日**（火） 13:00～16:30

会場

兵庫県立尼崎青少年創造劇場ピッコロシアター 小ホール

住所：兵庫県尼崎市南塚口町3-17-8（阪急神戸線「塚口」駅南出口より徒歩8分、JR宝塚線「塚口」駅西口より徒歩5分）

参加費

無料 ※情報交換会は参加費 3,000円

●手話通訳あり ●途中の入退場も可能 ●時間は予定、変動する可能性あり

13:00-13:15 ◎開会挨拶・趣旨説明

13:15-14:15 ◎第1部「人材交流から描く未来図～国内専門家フェローシップ研修報告から」

2015年度から開始した国内研修制度「国内専門家フェローシップ制度」を活用して、文化施設や芸術団体という枠組、地域を超えた人材交流が生まれています。

実演芸術では、ゆたかな芸術創造を支えるには専門性をもった人材が不可欠です。専門性を高めるためには、キャリアアップやキャリアシフトなど、段階に応じた研鑽の機会や、専門家同士の交流の機会が重要です。2017年度の研修者による報告から、本人の研鑽にとどまらない、研修先と所属元、さらにその周りにもたらす波及効果と可能性を探ります。

●報告者

佐々木 真美 【所属先】鳥根県芸術文化センター グラントワ（制作） 【研修先】世田谷パブリックシアター（学芸）
津内口 淑香 【研修先】公益財団法人神奈川芸術文化振興財団 ※研修時はフリーランス

14:25-16:30 ◎第2部「市民と芸術をつなぐ担い手として～劇場とアーティストの協働の事例から」

劇場や芸術団体は、地域の人たちと芸術文化との接点を、どう作りだすことができるでしょうか？ 市民参加型事業やセミナーなど、鑑賞するだけではない芸術文化の魅力を発見してもらうための様々な取組の事例紹介をしながら、地域のなかで市民と芸術活動をつなぐ担い手として、関係づくりを考えます。

●パネリスト

知念 百合香（南城市文化センター シュガーホール）

…地域を題材にした作品や市民ミュージカル、市民のための企画講座など、「やってみたい」を引き出すプログラム

山口 英樹（伊丹市立演劇ホール）

…演劇ラボラトリーや伊丹想流劇塾など、鑑賞だけにとどまらない興味を育てるプログラム

田窪 哲旨（兵庫県立ピッコロ劇団）

…県内の学校でのアウトリーチなど、拠点をもつ劇団だからその日常と演劇をつなぐ継続的なプログラム提供

●進行 森岡 めぐみ（いずみホール）

17:00-19:00 情報交換会 ●参加費 3,000円 【会場】武蔵坊（尼崎市南塚口町3-16-13）

フォーラム終了後は、フランクにお話ししながら皆さんと交流を深めましょう。



主催：文化庁／公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 [芸団協]

連携フォーラム宣言

実演芸術連携フォーラムは 2013 年から開催する実演芸術に携わる専門家同士の情報交流の機会です。2015 年度より文化庁「実演芸術連携交流事業」に位置づけています。

劇場、音楽堂等と芸術団体の力を生かし 実演芸術、地域文化をより豊かなものに

2012 年 6 月、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律が制定され、2013 年 3 月文部科学大臣により策定された指針が示され、今日における劇場、音楽堂等の目指すべき姿が現れてきました。実演芸術の力を生かし、すべての国民が心豊かな生活を実現できる場、地域コミュニティの創造と再生を通じ地域の発展を支える「新しい広場」として、国際社会の発展に寄与する「世界の窓」としての役割が期待されています。

第 2 回全国劇場・音楽堂等連携フォーラムに集った、劇場、音楽堂等と実演芸術関係者は、人々が文化芸術を創造し、鑑賞し、体験することができる豊かな環境をつくり出すことを共通目的に、劇場、音楽堂等と芸術団体が連携を深め、相互に学び、経験を共有し、実演芸術の質の向上と全国での機会の創出のために不断の努力を積み重ねていくことが重要であるとの認識で一致しました。そのためには、制作、技術、実演、経営等の専門家の育成・確保を図り、その活動の場を広げ、活動の質を高める必要があることも確認しました。

私たちは、これらのことを成し遂げていくために、継続的に努力し、積極的な政策提言を行わなければならないと考えています。そして、国、地方公共団体に対して、文化芸術の振興に果たす劇場、音楽堂等と実演芸術団体の役割を認識し、これらを活かすために、効果的な政策を形成し予算の拡充を図るよう働きかけていきます。

私たちは、今後、「全国劇場・音楽堂等連携フォーラム」を継続的に開催し、「実演芸術、地域文化をより豊かなものに」するために連携して活動に尽力することを宣言します。

2014 年 1 月 20 日 第 2 回全国劇場・音楽堂等連携フォーラム
劇場・音楽堂、実演芸術団体 参加者一同

実演芸術連携交流事業とは

国内外のプロデューサー、アートマネジメント人材、舞台スタッフ、実演家等の実演芸術に携わる専門家同士の交流促進を通じて、芸術文化を支えるグローバル人材の育成と国外への発信力の強化を図り、わが国の実演芸術の一層の振興に資することを目的とし、2015 年度より文化庁が開始した事業です。「国内専門家フェロウシップ制度」「実演芸術連携フォーラム」「実演芸術国際シンポジウム」の 3 つの取組を通して、実演芸術に携わる専門人材の育成と、専門家同士の横断的なネットワーク構築を目指します。

<http://www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/>



申込方法 | 第 9 回 実演芸術連携フォーラム

◎メール entry@geidankyo.or.jp …下記申込欄と同様の必要事項を明記してお送りください。

◎F A X 03-5909-3061 …下記申込欄にもれなくご記入の上お送りください。

- ◆申込み頂いた方の、氏名、所属、担当職務・役職を記載した参加者リストを当日配布予定ですのでご了承ください。
- ◆申込締切日後の参加申込や変更については担当までご連絡ください。 ◆当日は取材、記録撮影などを行います。
- ◆会場の都合上、申込者多数などにより、ご希望に添えない場合があります。
- ◆頂いた個人情報は、今後の同種の芸団協関連事業のご案内等に使用させていただきます。

F A X 申込フォーム

申込締切

9月28日(金)

ご所属 (団体名・館名) ※フリーランスの方は所属は空欄で結構です		TEL
		FAX
お名前 (ふりがな) 様	ご担当職務・役職	<input type="checkbox"/> 手話による情報補償が必要 ※手話による情報補償が必要な方には、通訳者が見えやすい席を確保します
Eメール		<input type="checkbox"/> 情報交換会に参加します ※参加費 3,000 円は当日お支払いください ※情報交換会には手話通訳はつきません
お名前 (ふりがな) 様	ご担当職務・役職	<input type="checkbox"/> 手話による情報補償が必要 ※手話による情報補償が必要な方には、通訳者が見えやすい席を確保します
Eメール		<input type="checkbox"/> 情報交換会に参加します ※参加費 3,000 円は当日お支払いください ※情報交換会には手話通訳はつきません
お名前 (ふりがな) 様	ご担当職務・役職	<input type="checkbox"/> 手話による情報補償が必要 ※手話による情報補償が必要な方には、通訳者が見えやすい席を確保します
Eメール		<input type="checkbox"/> 情報交換会に参加します ※参加費 3,000 円は当日お支払いください ※情報交換会には手話通訳はつきません

【お問い合わせ】 公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会 [芸団協]

担当：藤原

〒160-8374 東京都新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 2F

TEL：03-5909-3060(平日 10 時～18 時) FAX：03-5909-3061 Eメール：renkei@geidankyo.or.jp



主催：文化庁／公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 [芸団協]

協力 (申請中)：公益社団法人全国公立文化施設協会／劇場、音楽堂等連絡協議会／公共劇場舞台技術者連絡会